

2016年3月期 決算説明会

2016年 5月 24日



高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

2016年3月期の決算概要

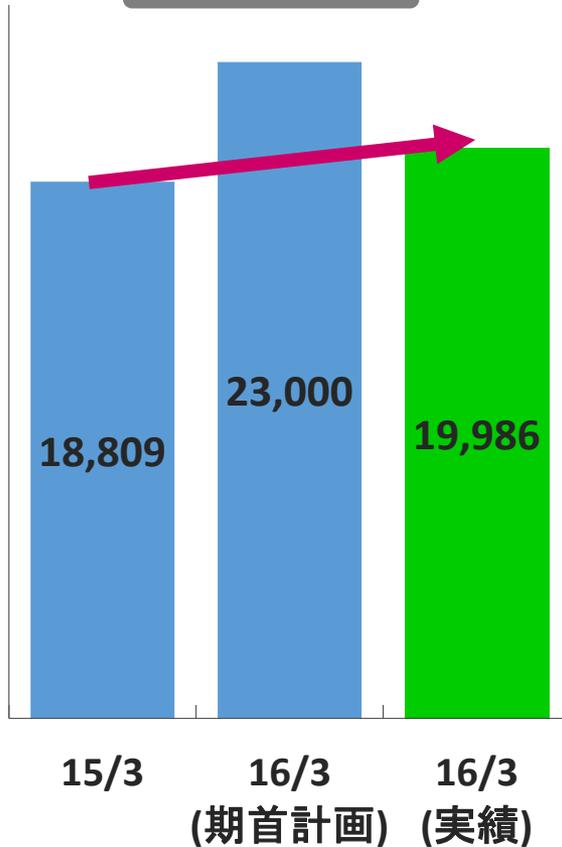
※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※今期(16/3月期)よりシステムセグメントの事業区分を一部変更しました。これに伴い過去期の区分も組み替えています。

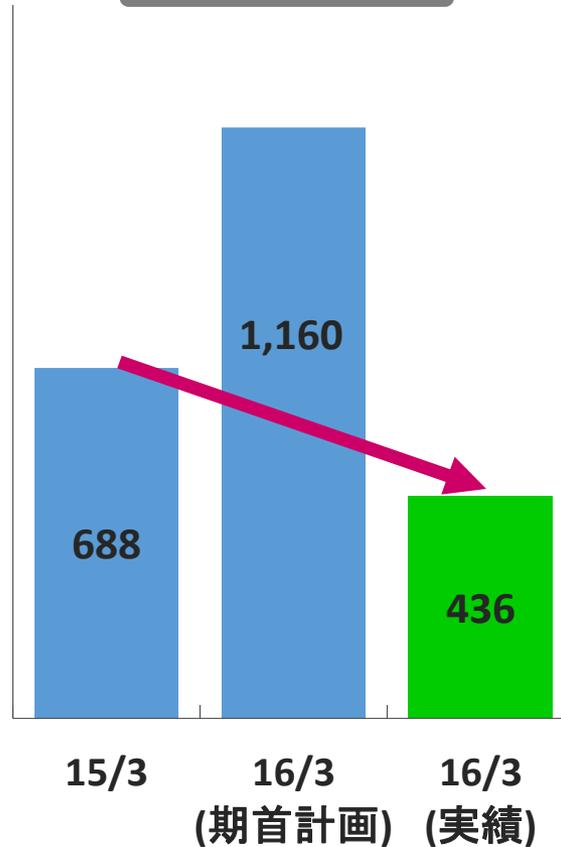
連結業績ハイライト

増収減益、期首計画からは大幅ダウン

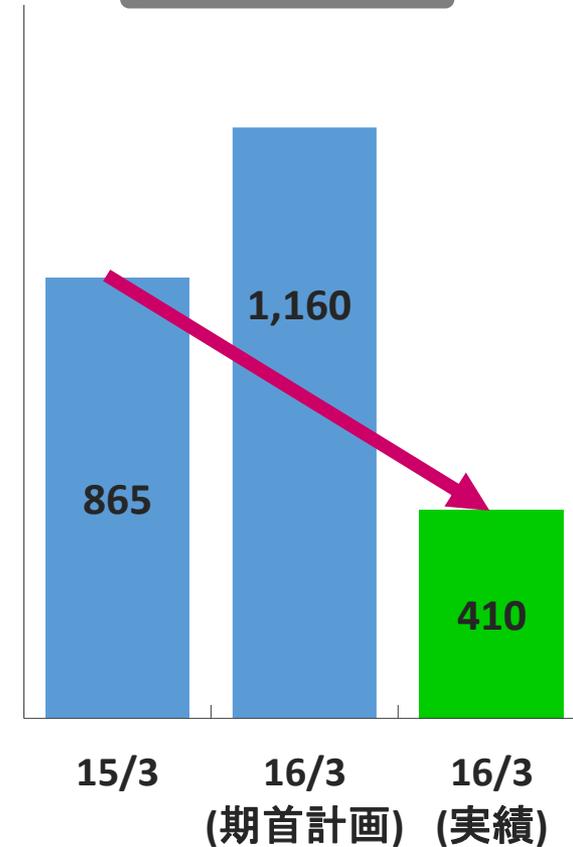
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



連結業績の詳細

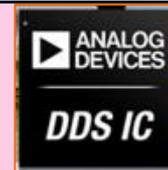
新規連結子会社により増収するも、粗利率低下や為替差損等により減益

(百万円)	15/3	16/3		計画差	前期差	前期比 (%)
	実績	期首計画	実績			
売上高	18,809	23,000	19,986	△3,013	1,177	6.3
粗利益	4,935	6,090	4,973	△1,116	37	0.8
粗利益率(%)	26.2	26.5	24.9	△1.6	△1.4	—
販売費及び一般管理費	4,247	4,930	4,536	△393	289	6.8
販管费率(%)	22.6	21.4	22.7	1.3	0.1	—
営業利益	688	1,160	436	△723	△251	△36.5
営業利益率(%)	3.7	5.0	2.2	△2.9	△1.5	—
経常利益	865	1,160	410	△749	△454	△52.5
経常利益率(%)	4.6	5.0	2.1	△3.0	△2.6	—
親会社株主に帰属する当期純利益	589	630	103	△526	△486	△82.5
当期純利益率(%)	3.1	2.7	0.5	△2.2	△2.6	—
人員	450	—	484	—	34	7.6

※ 16/3の販管費にのれん償却434百万円計上(15/3は264百万円)

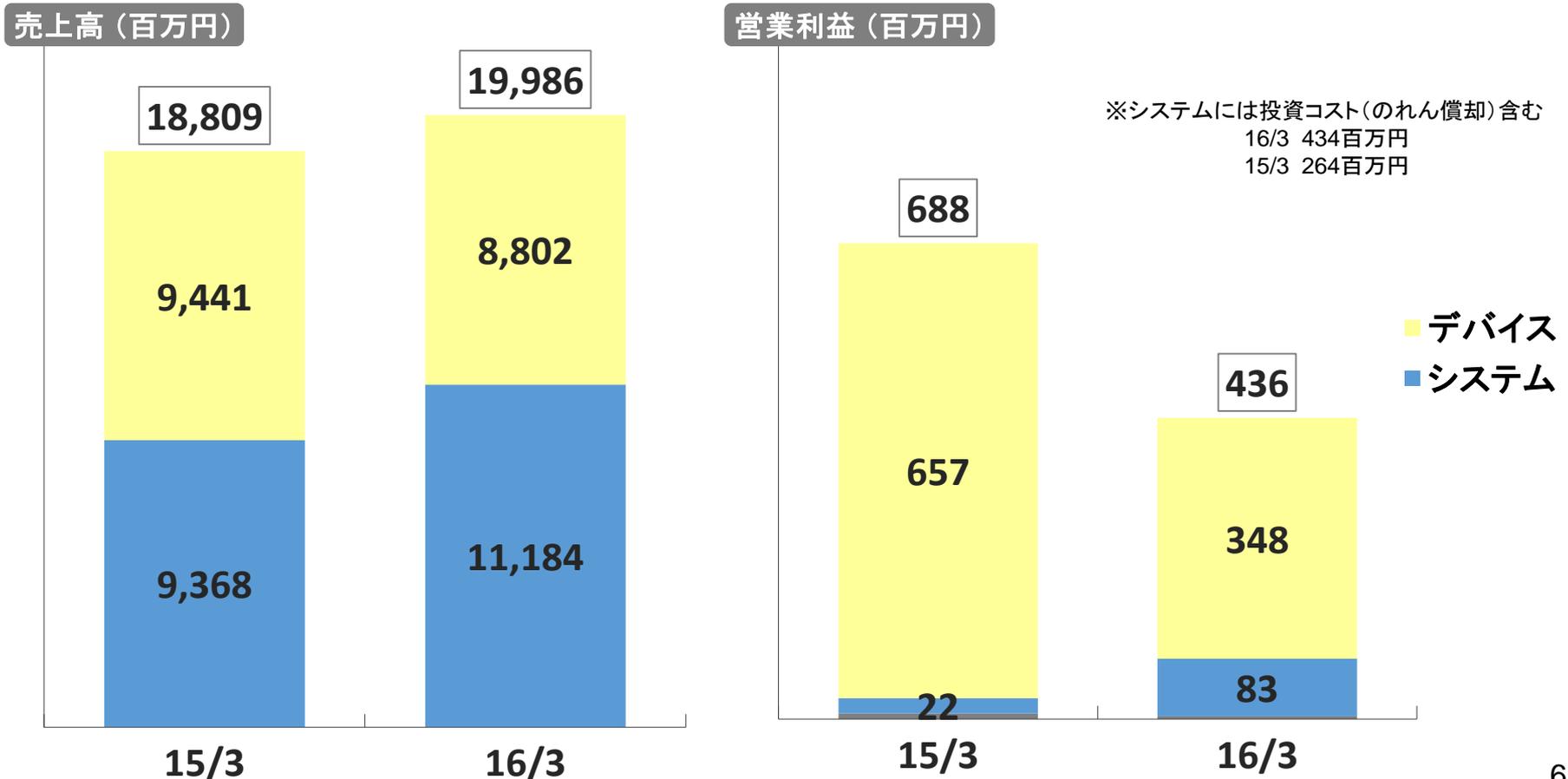
資料：セグメント・プロダクト

セグメント	プロダクト (商品類)	商品例
システム	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・EAS(商品監視システム) ・映像監視システム ・ストアマネジメントシステム ・ディスプレイセキュリティシステム ・オフィス入退室管理システム ・防火システム
	その他 ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ・メーリングシステム ・RFIDシステム ・ネットワークシステム
	カスタマ・ サービス	システムセグメント内の商品の 構築・保守・運用管理
デバイス	電子	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ半導体 ・通信用電子部品 ・各種センサー
	産機	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドレール ・ガススプリング ・ソフトクローズユニット ・電子錠



セグメント別業績

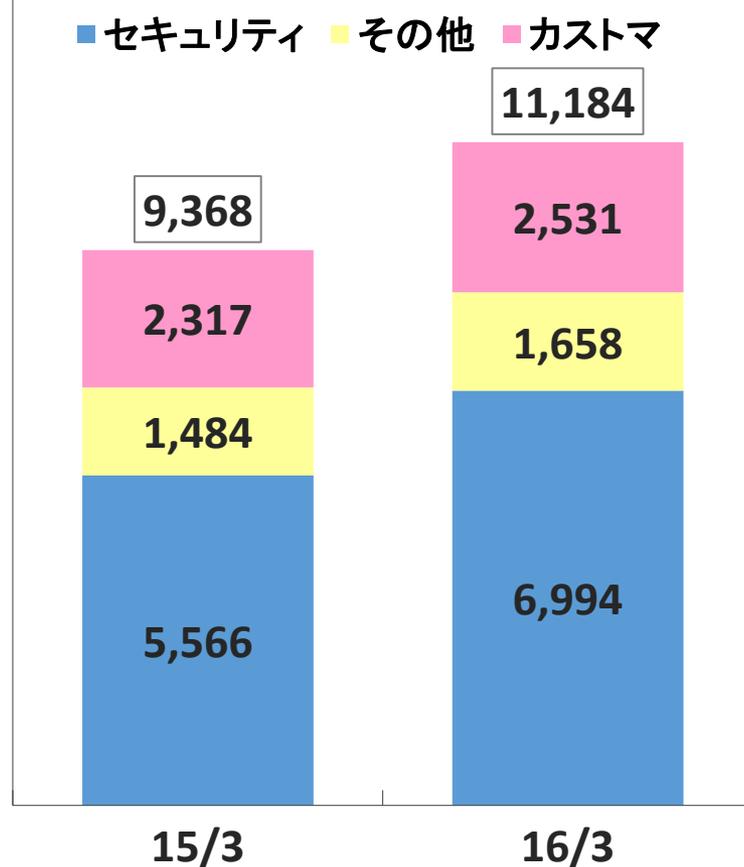
システム: のれん償却増を売上増で補い増収増益
デバイス: 円安や競争激化の影響を受け減収減益



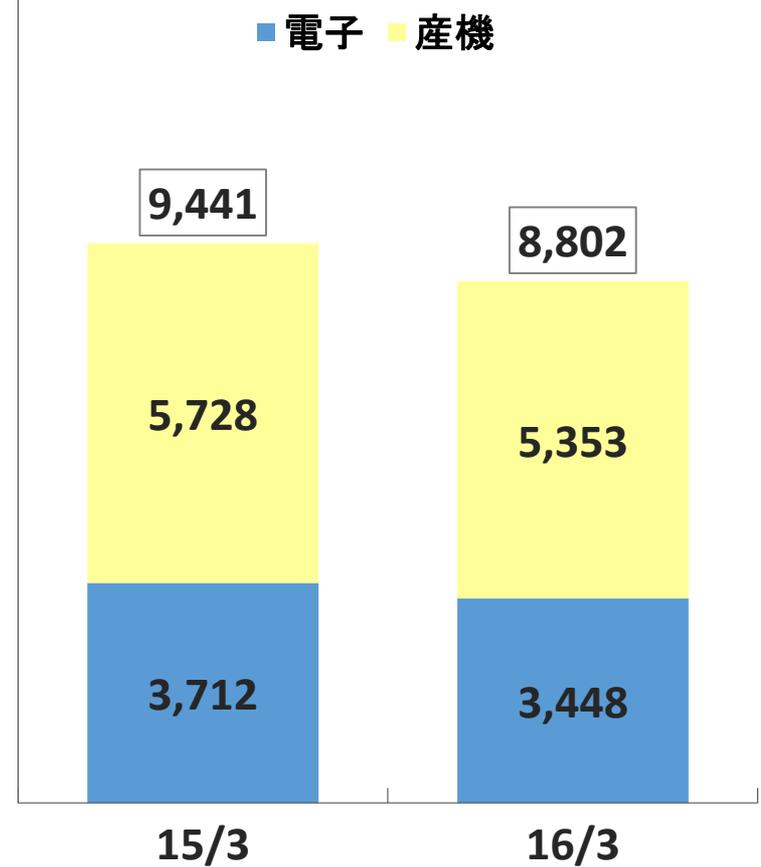
プロダクト別業績

システム: 全プロダクトで増収
デバイス: 全プロダクトで減収

システムセグメント
売上高 (百万円)



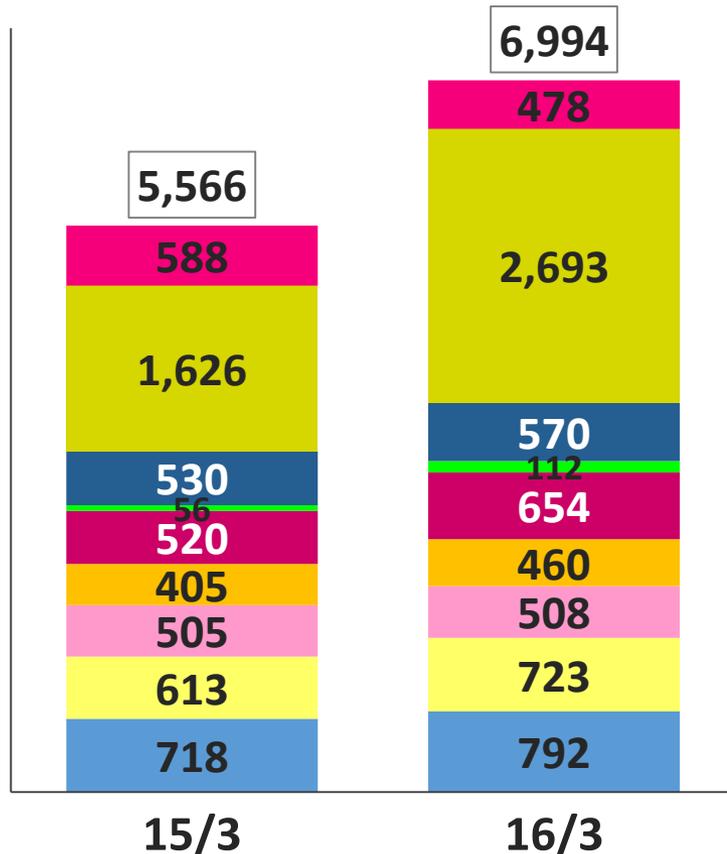
デバイスセグメント
売上高 (百万円)



セキュリティプロダクトの業績

ほぼ全市場で売上増加、GF社の連結開始も寄与

売上高 (百万円)



定性情報

- ◆ 主要顧客の小売店では、アパレルやGMS向けIPカメラ、及びホームセンター向け商品監視システム等が堅調に推移
- ◆ オフィスは工場や外資系企業向け中心に増収
- ◆ 防火市場は、高度防火システムの設計・構築を行うGuardfire社を新たに連結したことにより大幅増収
- ◆ ただし原油価格下落による石油プラント建設延期を発電プラントでカバーしきれず



EAS (商品監視システム)

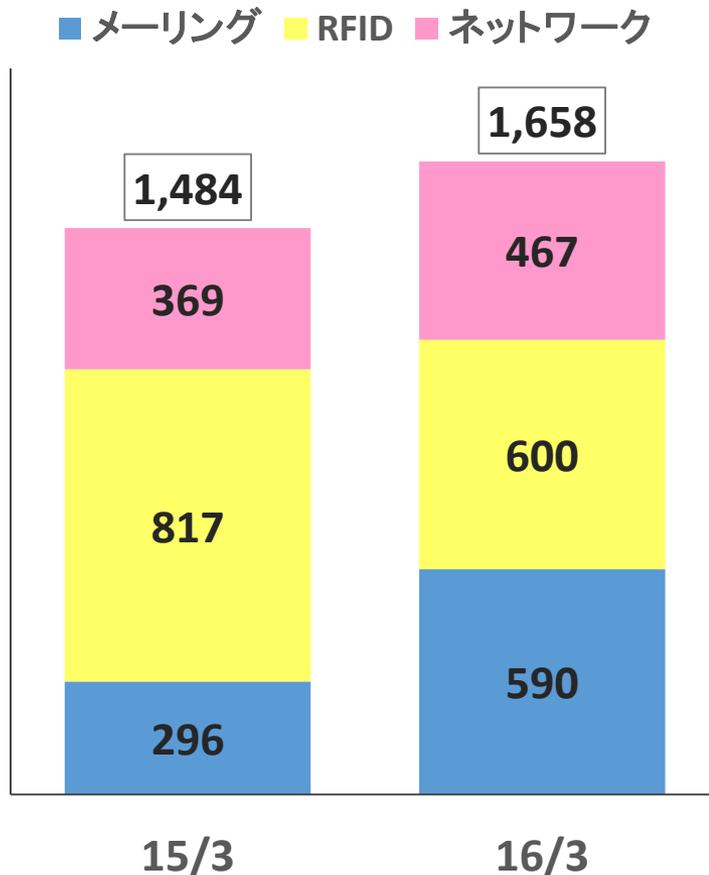


東南アジアの発電プラント

その他ソリューションプロダクトの業績

RFIDの減収をメーリング・ネットワークで補い増収

売上高 (百万円)



定性情報

- ◆ RFIDはアパレル等の大型案件の後ろ倒しにより減収
- ◆ ネットワークは無線LANシステム案件を企業向けに加え得意とする小売店に向けて数多く取り込み増収。仕入先のシスコシステムズ社より「Cisco Meraki Acceleration Award」を受賞。
- ◆ メーリングはマイナンバー関係書類発送に関わる大口案件により増収



無線LANシステム



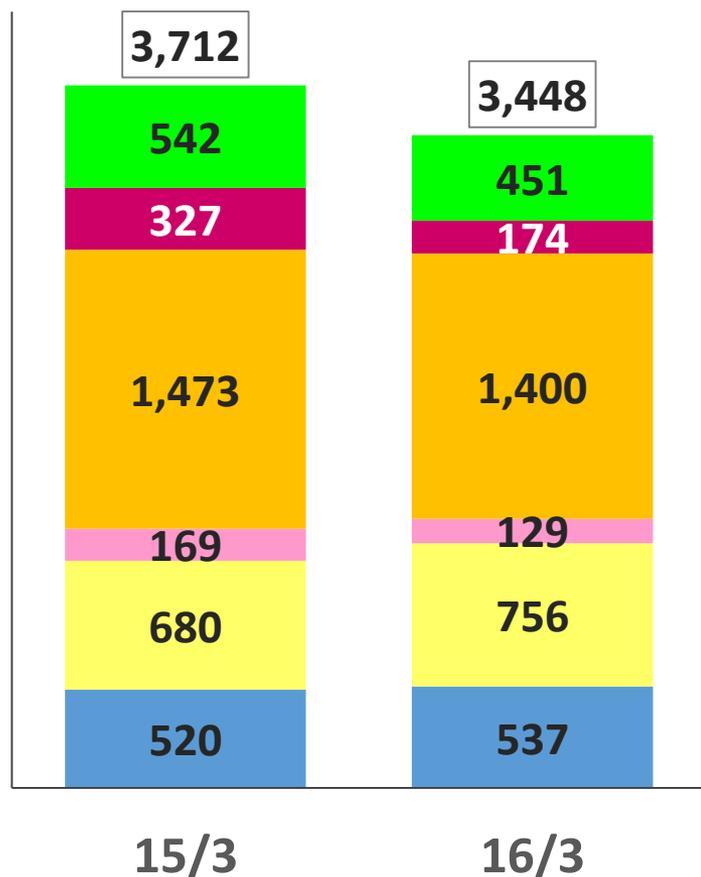
メーリング(封入封函)機器

電子プロダクトの業績

一部好調な案件があるものの全体では減収

売上高 (百万円)

■ DA1 ■ DA2 ■ TT
■ II ■ アミューズメント ■ その他

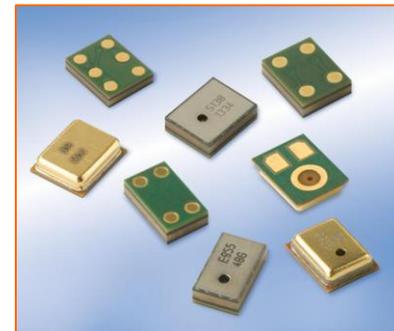


定性情報

- ◆ 産業機器市場(II)は全体では減収となるも、ターゲットとしていた大手キャリアのIP-PBX (構内交換機)用プロセッサの大口案件獲得
- ◆ DA2ではテレビリモコン向けICが堅調
- ◆ アミューズメント市場やその他二次店向け販売は苦戦し減収



IP-PBX用プロセッサ



テレビリモコン向けIC

資料：電子プロダクトの市場区分

DA1 「デジタルアプライアンス1」

モバイル系情報家電 … 携帯電話、スマートフォン、デジタル・カメラ等

DA2 「デジタルアプライアンス2」

設置型情報家電 … 液晶テレビ、パソコン、プリンター等

TT 「テレマティクス」

車載用機器 … カーナビゲーション、車載カメラ等

II 「インダストリーインフラ」

産業機器 … 構内交換機、通信基地局、医療機器、放送設備、等

アミューズメント

… ゲーム機、遊技機等

その他

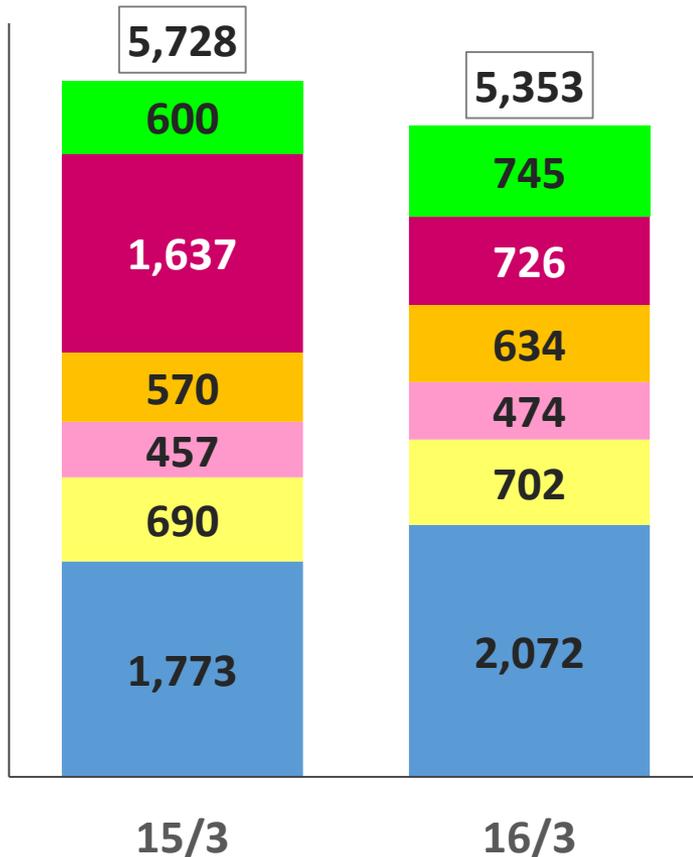
… パワー(電源関係)、代理店販売等

産機プロダクトの業績

遊技市場以外は伸張するも遊技縮小の影響が大きく減収

売上高 (百万円)

■ 自動機 ■ 住設 ■ OA/PPC
■ OF ■ 遊技 ■ その他



定性情報

- ◆ 自動機市場は国内外のメーカーのATM(現金自動預け払い機)への販売が引き続き堅調に推移
- ◆ 遊技市場は競争激化により大幅減収
- ◆ その他市場ではターゲットにしていた自動車内装向けダンパーが好調



スライドレール



ダンパー

資料：産機製品の市場区分

自動機

… ATM(現金自動預け払い機)、券売機、釣銭機、自動販売機等

住設 「住宅設備」

…システムキッチン、福祉機器、引き戸、昇降棚等

OA・PPC

…複合機、コピー機、プリンター、印刷機等

OF 「オフィスファニチャー(家具)」

…オフィス・医療用キャビネット、机、椅子等

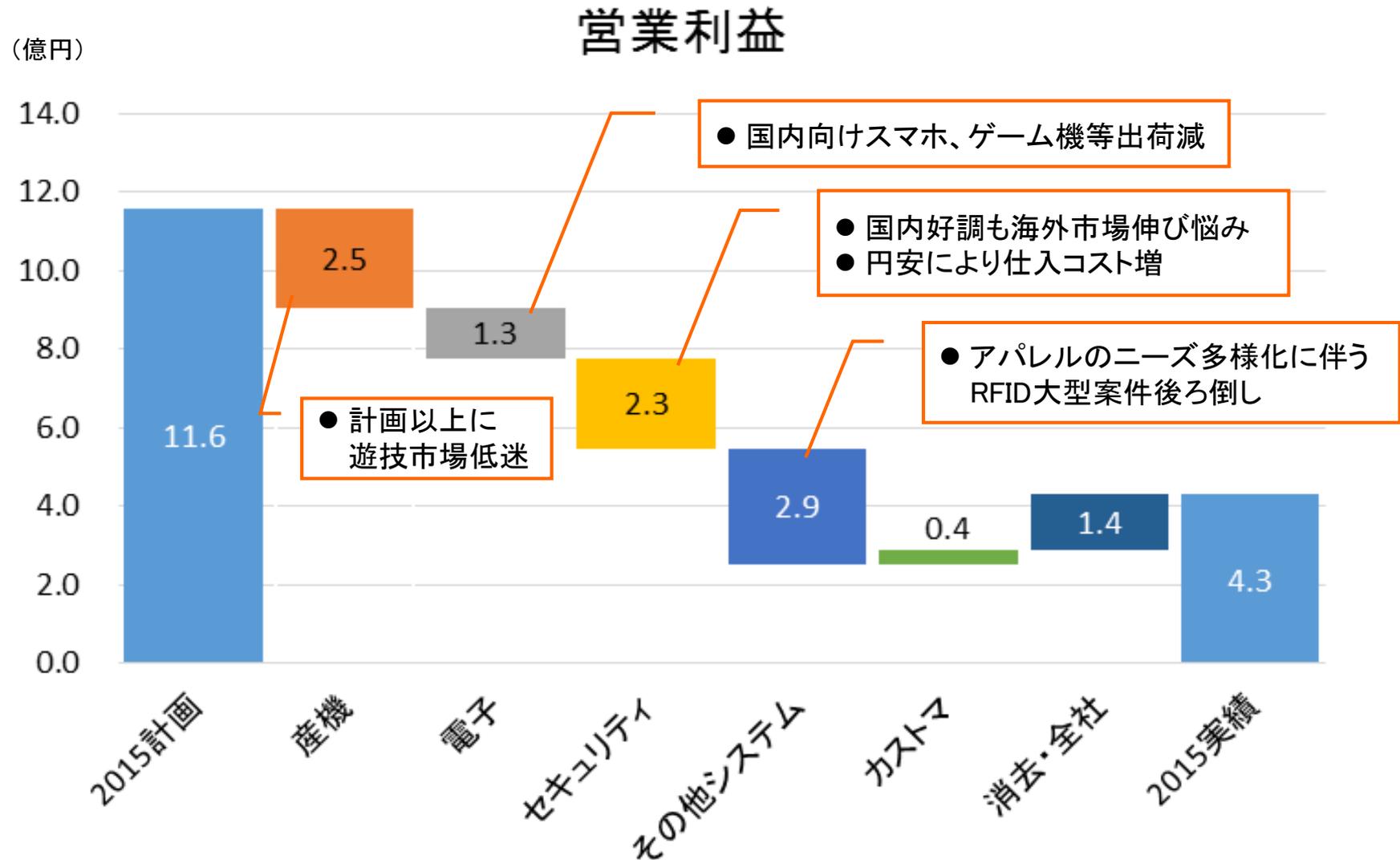
遊技

…パチンコ台間機、ゲーム機、アミューズメント設備等

その他

…上記以外で自動車・鉄道関連、半導体製造装置、サーバーラック、等

プロダクト別業績



貸借対照表の状況

のれん償却や投資有価証券売却により固定資産が減少

(百万円)	15/3	16/3	構成比(%)	増減
流動資産	15,609	14,992	82.1	△617
現金預金	5,637	5,758	31.5	121
受取手形及び売掛金	6,608	5,863	32.1	△745
商品及び製品	2,202	2,218	12.2	16
固定資産	4,229	3,261	17.9	△968
有形固定資産	360	306	1.7	△53
無形固定資産	2,350	1,587	8.7	△762
投資その他資産	1,519	1,367	7.5	△152
資産合計	19,839	18,253	100.0	△1,585
流動負債	4,245	3,693	20.3	△552
支払手形及び買掛金	3,128	2,466	13.5	△662
固定負債	646	716	3.9	69
純資産	14,947	13,844	75.8	△1,102
負債純資産合計	19,839	18,253	100.0	△1,585

連結キャッシュ・フロー計算書の状況

当期純利益減少等により営業活動CF減少
 自社株買いにより財務活動CF減少

(百万円)

	15/3	16/3	前期差
営業活動によるキャッシュフロー	1,255	371	△884
投資活動によるキャッシュフロー	△2,650	349	3,000
財務活動によるキャッシュフロー	△230	△591	△361
現金及び現金同等物の増減額	△1,574	45	1,619
現金及び現金同等物の期首残高	6,462	4,887	△1,574
現金及び現金同等物の期末残高	4,887	5,158	271

株主還元策について

安定的な配当を継続的に実施

	1株あたり 年間配当金	内中間配当	配当性向:連結
2013年3月期	24円00銭	12円00銭	42.2%
2014年3月期	24円00銭	12円00銭	41.5%
2015年3月期	24円00銭	12円00銭	39.9%
2016年3月期	24円00銭	12円00銭	222.4%
2017年3月期 (予想)	24円00銭	12円00銭	(見込み) 57.2%

加えて、将来の成長に向けた投資にも注力

トピックス

中期経営計画2016-2018

Challenge toward 2018
- Beyond Boundaries -

内容

- 事業環境の認識
- 当社が取り組むべき課題
- 中期経営方針と経営目標
 1. 既存事業の収益拡大
 2. グローバルビジネスの拡大
 3. 新規ビジネスの創出
- 事業ポートフォリオ
- 戦略別粗利成長シナリオ
- 事業運営及び配当政策

事業環境の認識

◇外部環境

- 米国経済は好調維持も、原油価格の下落、中国経済の減速によりグローバル経済は安定を欠く
- 国内では少子高齢化の進行と企業の投資抑制により大きな経済成長は期待できず
- 国内需要はインバウンド需要等の一部の要因以外は伸び悩む
- 日系家電製品の世界シェアの大幅低下により部品市場も縮小
- グローバルに展開されるM&Aによる事業再編で市場の寡占化が進行

◇市場拡大が見込める分野

- 世界的なテロや犯罪の増加によるセキュリティ市場
- アジア地域の電力需要拡大による発電所建設・拡張
- オリンピック関連、環境、インターネット、クラウド、オムニチャネル、IoT、自動運転、ロボット、ビッグデータ、AI及びRFID関連市場の拡大
- 高齢化社会への移行に伴う医療・介護、健康、住宅等の需要拡大

当社が取り組むべき課題

- ① 既存事業の収益拡大
- ② グローバルビジネスの拡大
- ③ 新規ビジネスの創出
- ④ 組織と人材の強化
- ⑤ グループ経営の強化

中期経営方針と経営目標

独自ソリューションの展開とグローバル事業の拡大による 利益成長の実現

2018年度 売上目標 255億円、経常利益目標 15億円

経常利益20億円を目指し、当中期計画でV字回復を達成する

Challenge toward 2018 - Beyond Boundaries -

◇Boundary 1 組織間の境界線を踏み越える

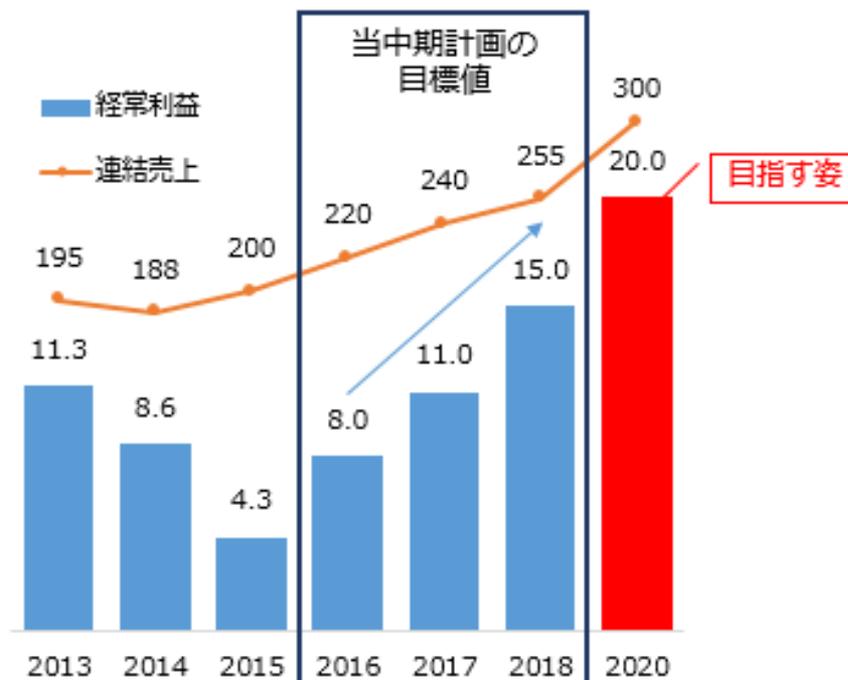
グループ内で専門的に事業展開する各社の技術と販売網を結集させ独自性を確立し競争力を強化

◇Boundary 2 地域的な境界を飛び越える

成長する海外市場への進出を加速させ成長力を拡大

◇Boundary 3 事業領域の境界にチャレンジする

新たな成長分野に挑戦し事業領域を拡大させることで、収益拡大のサイクルを構築



1. 既存事業の収益拡大

① グループの専門性を結集した独自のシステムソリューションによる競争力強化

- システム事業の各々の専門性を活かした複合ソリューション開発と販売
 - リテールセキュリティ 画像認識と商品監視システムの複合ソリューション
 - リテールRFIDシステム セキュリティにフォーカスしたRFIDソリューション
- 市場が急拡大しているソリューションを各事業のエッセンスを加え販売
 - クラウド無線LANシステム クラウド環境で無線LANシステムを制御する新ソリューション

② 独自のカスタマイズでお客様製品の価値を増大させるデバイスソリューション

- 素材から選定し、安全性・快適性を向上させる産業機構部品の設計、開発、販売
 - ムーブメントソリューション 物の動きを最適化する高品質な可動部品
- お客様製品に最適化させる電子部品モジュールの設計と販売
 - カスタマイズド電源部品 半導体単品だけでなく最適な構成をもったセット販売
- 顧客要求品質に対応するための海外サプライヤの選定・指導・育成

③ 顧客満足を追求する営業・技術のサポート力強化

- 顧客便益を最大化するソリューション提案の実現
- 効果的で効率的な運用サポート及び迅速で的確なトラブル対応の追及

2. グローバルビジネスの拡大

成長戦略 各事業体の海外展開の推進

① 東南アジアにおける防火システム事業の拡大

- 拡大する電力需要に対応するために建設が活発化している火力発電プラントへの防火システムの販売拡大
 - Guardfire社によるタイ、インドネシアの火力発電所プラント案件の獲得
 - TK Fire, Security & Servicesの小型発電所向け防火システム案件、リノベーション案件の獲得

② 産機事業の海外展開の加速

- アメリカ（北米、ブラジル）における住宅設備分野、ATMへの機構部品の販売と新規顧客の開拓
- 中国における自動車内装分野等への販売拡大
- インド・東南アジアへの日本企業進出に伴うサポート体制の構築

③ 中国、東南アジアにおけるセキュリティ事業の拡販

- 日本品質のセキュリティソリューション、RFIDシステム等の販売及び海外進出小売業へのサポート
- 東南アジア進出地域の拡大

④ RFID特殊タグの海外市場への販売

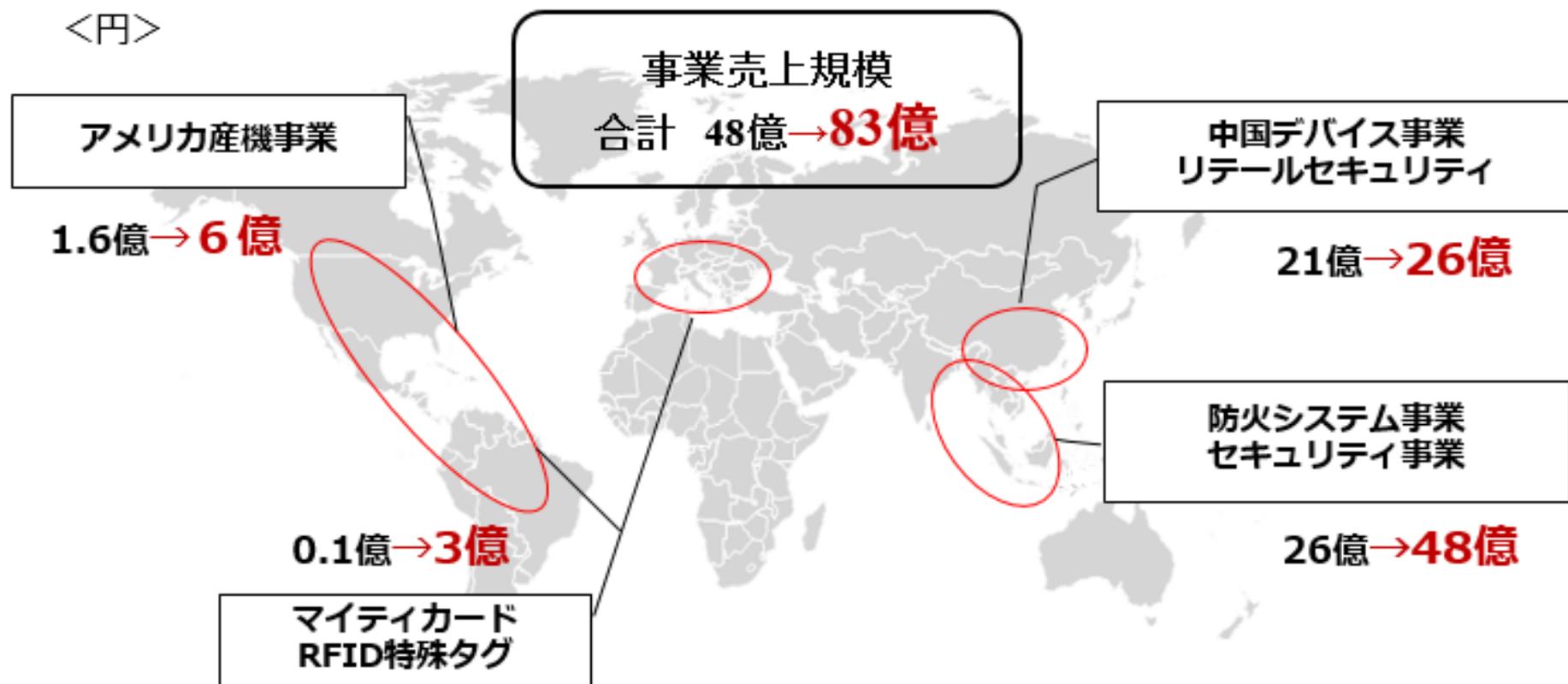
- 独自開発したリネンタグの欧州、北米市場への販売

グローバル事業の展開

グローバルビジネスの拡大

- ① 東南アジアにおける防火システム事業の拡大
- ② 産機事業の海外展開（中国、アメリカ）の加速
- ③ 中国・東南アジアにおけるセキュリティ事業の拡販
- ④ RFID特殊タグの海外市場（欧州、北米）への販売

<円>



3. 新規ビジネスの創出

成長戦略 新分野を開拓し新たな成長を実現

① 新市場、新ソリューション開発によるRFID事業の拡大

- ・ 資産管理（機密情報、物品など）や物流管理に関する独自のシステムとタグの開発と販売
- ・ リネン、ユニフォーム等の個別管理を可能とするRFIDタグとその管理システムの開発と販売

② 成長分野における新規事業の開発・拡大

ネット通販事業

急激に拡大するネット通販市場において世界的な情報網を活かし先進性・ファッション性に優れた製品を専門的に取り扱うネット通販の運営

ビデオクラウド事業

IT市場で成長しているクラウドビジネスにおいて、映像をデータとして保存する、高画質、低価格のビデオクラウドシステムの販売

水環境事業

世界的にクローズアップされている水環境に貢献する、今までになかった高機能、高品質の天然成分型水処理凝集剤の販売

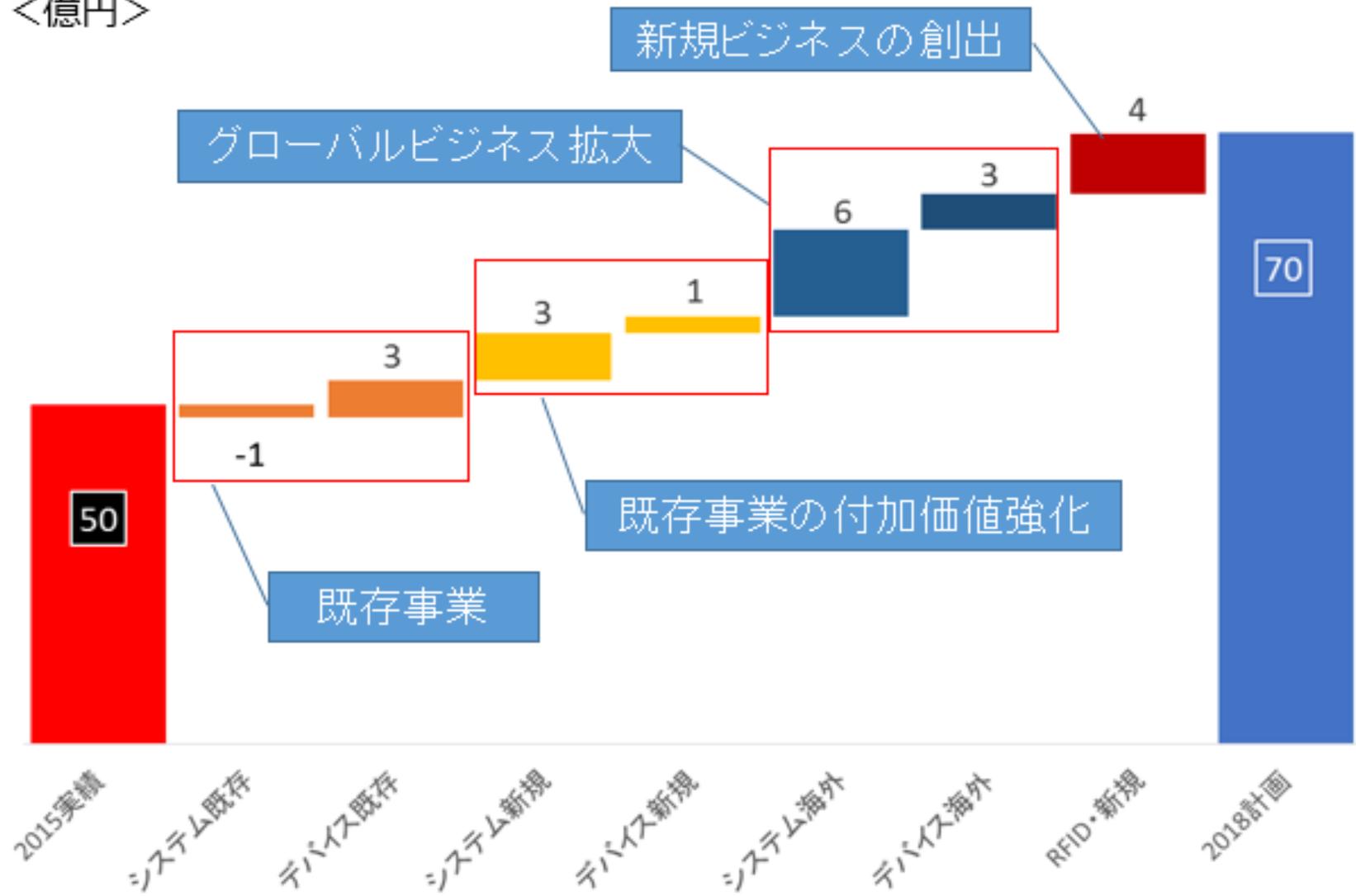
事業ポートフォリオ 売上拡大シナリオ

新規市場	② グローバルビジネスの拡大 <ul style="list-style-type: none"> ● 産機事業の海外展開(中国・アメリカ) ● 東南アジア防火システム事業 ● リテールセキュリティの中国、東南アジア 	④ 新規ビジネスの創出 <ul style="list-style-type: none"> ● RFIDシステム、特殊タグ ● ネット通販(新規) ● 新規事業(環境、クラウドサービス事業等) 	
	投資分野 海外販売拡大 +35億円	新規事業推進 +13億円	投資分野
既存市場	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内商品監視システム、タグ販売 ● 入退室システム、カメラ ● ネットワーク機器 ● インサーター、IJP ● 半導体・部品販売 ● 国内スライドレール、ダンパー他 	<ul style="list-style-type: none"> ● リテールRFIDシステム ● 画像認識システム ● 複合リテールソリューション ● クラウド型無線LANシステム ● デバイスソリューション 	
	① 既存市場への既存商品の販売 利益基盤の維持 +4億円	付加価値向上 +16億円	投資分野
既存商品		新商品	

※数字は2015年比、連結調整前数字

戦略別粗利成長シナリオ

<億円>



事業運営及び配当政策

① 組織と人材の強化

- ・ 中期計画を実現する最適な組織体制の強化
- ・ グローバル化、競争力強化のための人材開発・社員教育の強化

② グループ経営の強化・推進

- ・ 各事業間の営業面・技術面の連携を深め、グループ全体の事業推進力を高める
- ・ グローバル化とグループ経営の拡大に対応した各種リスク管理の強化
- ・ グループ全体のガバナンス体制の継続的強化

③ 株主還元方針

- ・ 安定的な配当を行うことを基本方針とし、安定性・継続性に加えて、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な課題と位置づける

④ 事業拡大のための成長投資

- ・ 将来の事業拡大（M&A、提携等）に備えた内部留保を確保
- ・ システムセグメント、デバイスセグメント、他への持続成長のための投資

次期の見通し

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※前期(16/3月期)よりシステムセグメントの事業区分を一部変更しました。これに伴い過去期の区分も組み替えています。

通期業績計画

中期経営計画の初年度として新たな事業成長に向け邁進

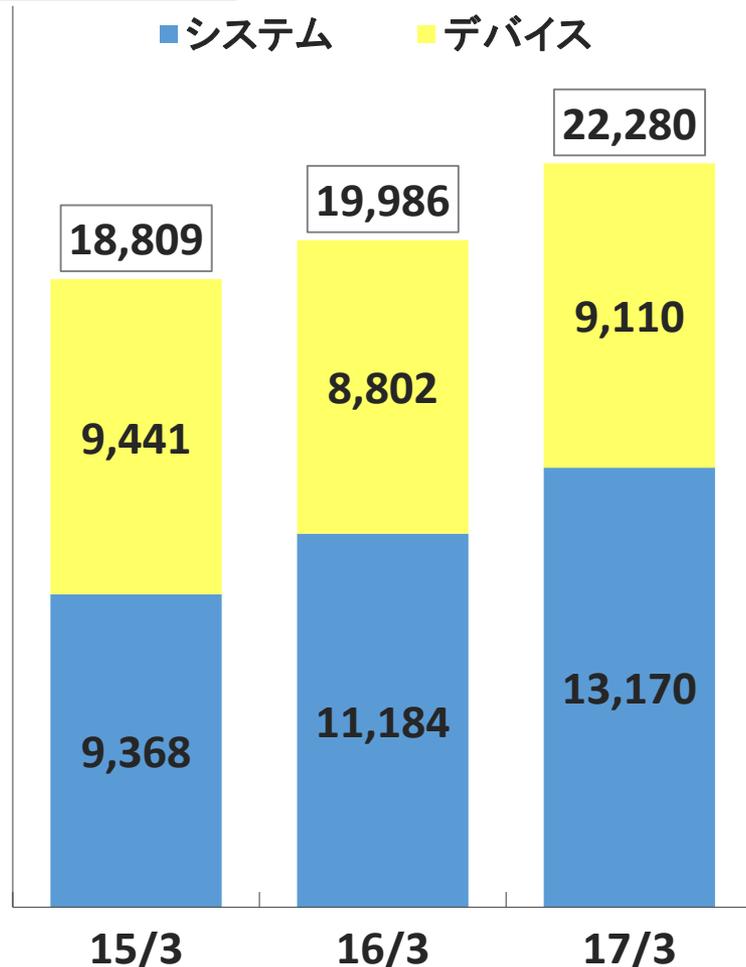
(百万円)	16/3 実績	17/3 計画	前期差	前期比(%)
売上高	19,986	22,280	2,293	11.5
粗利益	4,973	5,850	876	17.6
粗利益率(%)	24.9	26.3	1.4	—
販売費及び一般管理費	4,536	5,050	513	11.3
販管费率(%)	22.7	22.7	0.0	—
営業利益	436	800	363	83.2
営業利益率(%)	2.2	3.6	1.4	—
経常利益	410	800	389	94.7
経常利益率(%)	2.1	3.6	1.5	—
親会社株主に帰属する当期純利益	103	400	296	287.5
当期純利益率(%)	0.5	1.8	1.3	—

※ 17/3計画の販管費にのれん償却約391百万円計画(16/3実績は434百万円)

セグメント別販売計画

両セグメントで増収を計画

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ システム: 国内ではドラッグストアやアパレルショップでの拡販、海外では発電プラント向け防火システムや特殊RFIDタグ等に注力
- ◆ デバイス: 電子は産業機器市場での拡販継続、産機は本格的な米国攻略を推進

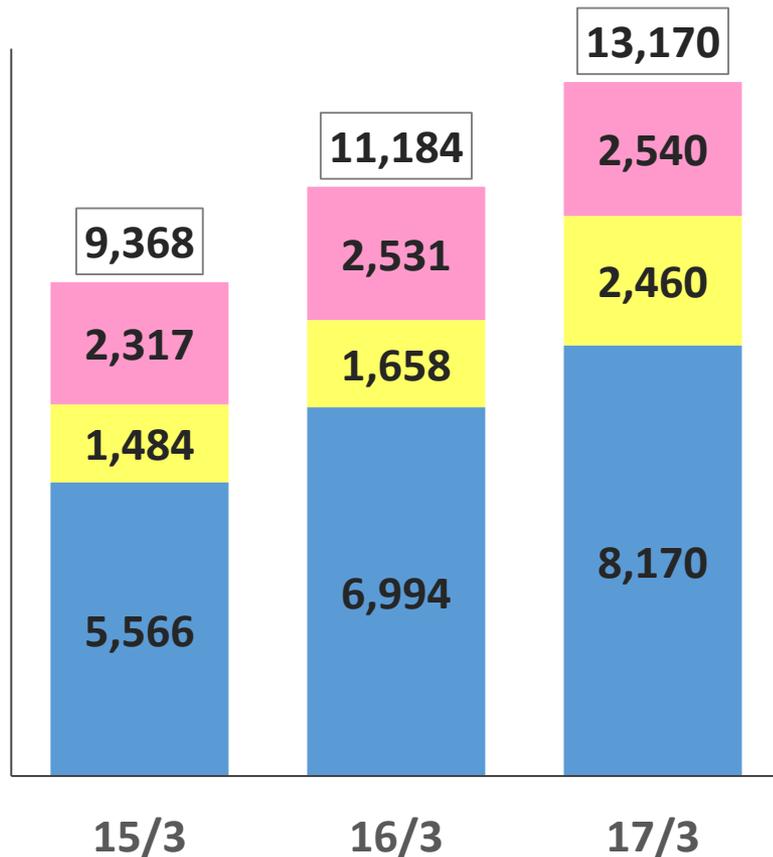
	16/3	17/3	前期比
売上高	19,986	22,280	2,293
営業利益	436	800	363
経常利益	410	800	389
親会社株主に帰属する当期純利益	103	400	296

セグメント別販売計画の詳細

全プロダクトで増収計画

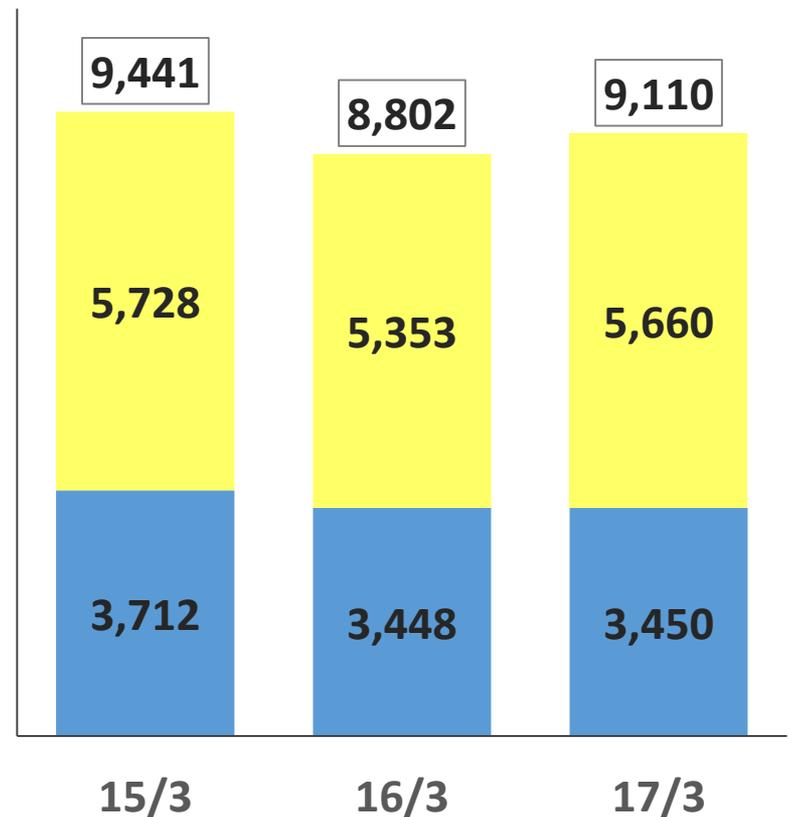
システム

■ セキュリティ ■ その他ソリューション ■ カスタム

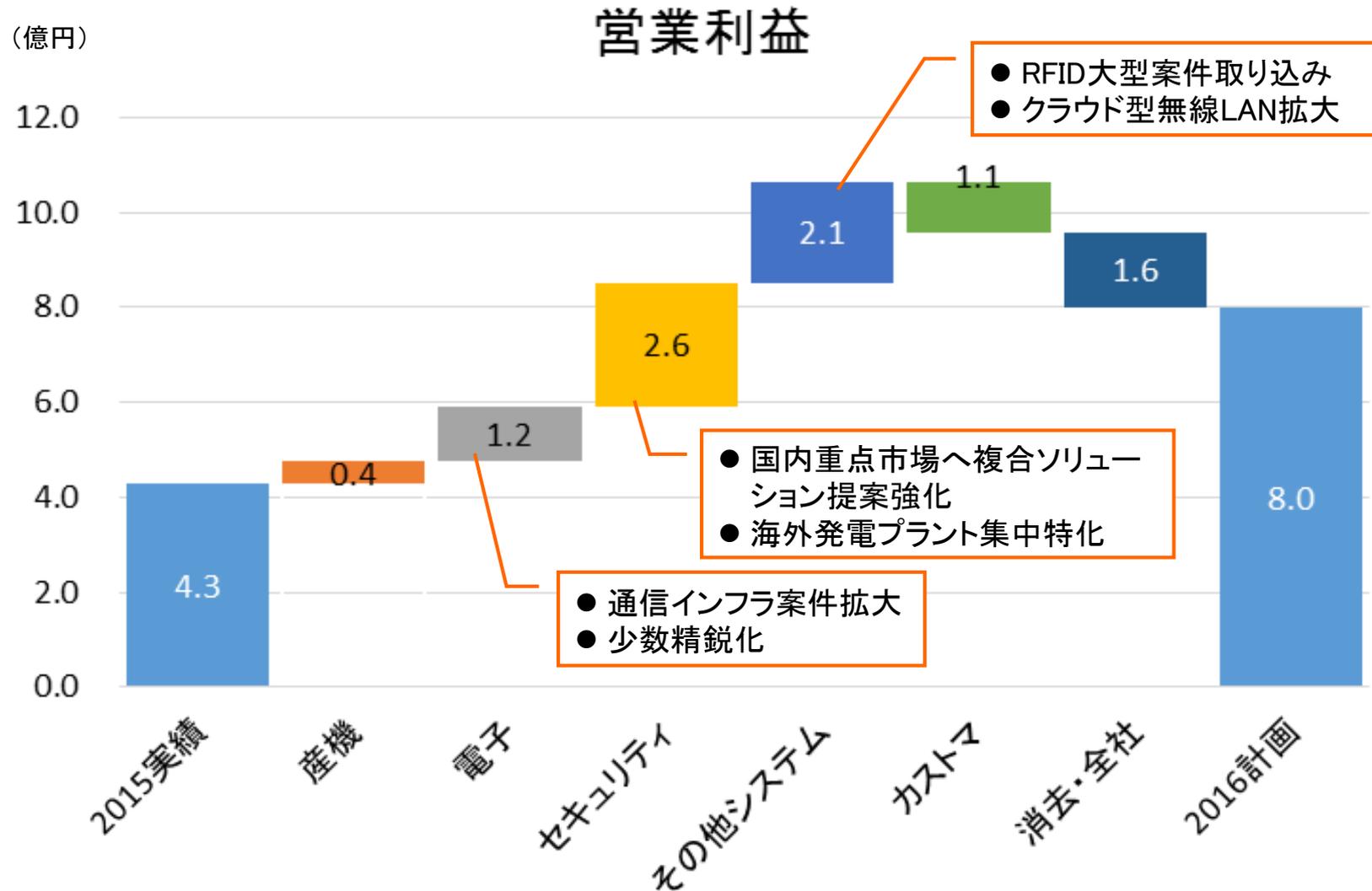


デバイス

■ 電子 ■ 産機



セグメント別計画



ありがとうございました。



当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、
記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。